

に入り発芽するが著者は其2--4細胞時代まで見届けしのみなり。

近來の研究に據れば綠藻には三型あり、其一は Haplobiontic Haplont にして藻は唯 Haplont のみで Diplont は接合子之を代表するもので Volvocales, Stephanocontae, Acontae, Ulothrix zonata, Cole chaete の類之に屬し、其二は Haplobiontic Diplont で藻體は Diplont にして其 Gonotocont cell の減數分裂によりつゝ直に Gametes を生ずるものにて Cladophora glomerata, Acetabularia, Codium tomentosum 等之に屬す、其三は Diplobiont にして Haplont 世代と Diplont 世代と交互する世代の交番あるもので Chaetomorpha aerea, Ulva lactea, Dasycladus, Monostroma, Enteromorpha intestinalis, Cladophora Suhriana, Cladophora pelucida 等之に屬す、而てカハノリは其何型に屬するか此後の研究を要す。(G. KOIDZUMI).

岡村金太郎氏：太平洋に於る海藻分布 (K. OKAMURA :—The Distribution of Marine Algae in Pacific Waters, in Records of Oceanographic Works in Japan, Vol. IV. no. 1. June, 1932. pp. 30—150).

氏は太平洋を Japan, Bering Sea, America, Australia, Malay, China Sea, Polynesia の七區に分ち、太平洋産3794種の海藻分布を論ぜり。今各類が各區に分布する状を表示すれば

地 方	綠 藻 類	褐 藻 類	紅 藻 類	全 数
Japan	182	194	488	864
America	190	295	700	1185
China Sea	54	72	56	182
Polynesia	191	114	353	658
Malay	203	153	504	860
Bering Sea	24	45	61	130
Australia	185	345	1086	1616
全 数	559	818	2417	3794

第一。日本區 (The Japanese region)

南臺灣より北占守島に到る海岸及び東支那海、黃海、日本海、オコック海を包括し總計864種ありて其310種 (35.6%) は特有種であり、又特有屬は12屬ある。其中 Malay と共通するもの261種 (29.5%) Australia と共通するもの235種(27.1%)を最多となし、次は Polynesia の209種、印度洋の178種なり。

第二。支那海 (The China Sea region)

南支那海及びフィリッピン群島にして總計182種、内特有種は僅に12種なり、特有

屬は唯 *Opephyllum* のみなり、此區は寧ろ Malay 區の内に入れて可なり。

第三。ベーリング海 (The Bering Sea region)

カムチャッカの東海岸、アリウシアン列島、Alaska の海岸を含み、總計130種にして寒帯、亞寒帯の類のみなり、特有種は41種、特有屬は6屬あり。

第四。亞米利加區 (The American region)

南北亞米利加の西海岸にして總計1185種あり、内特有種714種(60.2%)、特有屬36屬あり、日本と共通なるは185種で Australia と共通なるは224種あるが此多くは南米海岸産なりと云ふ、注目すべし。

第五。オーストラリア (The Australian region)

オーストラリアの北、東、南の海岸、Tasmania, New Zealand, Lord Howe, Norfolk, Kermadec, Chatham の各島及び南氷洋の各島を含む、總計1610種、内特有種925種、特有屬103屬あり。

第六。マレー (The Malay Archipelago region)

馬來群島より Kaiser Wilhelmsland まで含み860種あり、特有種207、特有屬10屬あり。

第七。太平洋中部 (The Polynesian region)

Polynesia, Micronesia, Melanesia 及び Hawaii を含み赤道の南北 20° づゝに亙る海なり、657種の内、特有種194種(29.5%)あり、此區域は一も特有屬なきのみならず綠藻類の如きは一も特有種なし、されば此海は Malay 區中に包括さるべきものに過ぎず。

終に太平洋産全海藻總目錄あり。(G. KOIDZUMI)

石嶋氏：日本第三紀珊瑚藻族 ISHIJIMA, W.:—On Two New Species of *Corallinac* from the Tertiary of Japan, (Jap. Journ. Geol. Geogr. IX, 1932. No. 3. pp. 143—147. t. 12, 13).

珊瑚藻科化石中イシゴロモ族 (Melobesiae) のものは日本中生代及第三紀に稀ならず西和田久學氏が遠江相良の男神山、女神山の第三紀石灰岩より *Lithothamnium ramosissimum* RUESS. を報告せし以來、矢部、徳永、R. B. NEWTON, R. HOLLAND, HEYDRICH の諸氏により琉球、臺灣、小笠原島、甲斐、相模等より、*Lithothamnium ramosissimum*, *Lithothamniscus nahaense* HEYDRICH, *Archaeolithothamnium* sp., *Lithothamnium* sp., *Lithophyllum* (*Dermatholithon*) sp., 等を報告されしも、珊瑚藻族 (Corallinae) の化石は唯甲州南都留郡大石村久保井 (川口湖畔) の不純石灰岩